

前橋市社会福祉審議会 第6回高齢者福祉専門分科会 議事録

◆ 日 時 令和5年12月21日(木) 午後1時30分～午後3時13分

◆ 場 所 前橋市議会庁舎 2階研修室

◆ <出席者> 15人(敬称略)

委員：◎牛久保美津子 (群馬大学大学院)
長谷川亮輔 (群馬弁護士会)
松浦恵 (群馬司法書士会)
○西野郁生 (前橋市歯科医師会)
矢嶋美恵子 (群馬県看護協会)
小林英俊 (前橋市社会福祉協議会)
後閑千代壽 (前橋市老人クラブ連合会)
久保田光明 (前橋市民生委員・児童委員連絡協議会)
柳川右千夫 (群馬県老人保健施設協会)
黒澤瑞樹 (群馬県老人福祉施設協議会 中毛ブロック)
野中和英 (群馬県介護支援専門員協会 前橋支部)
武井謙介 (群馬県在宅福祉サービス事業者協会)
石倉京子 (市民公募臨時委員)
剣持鈴代 (市民公募臨時委員)
生方ちはる (市民公募臨時委員)
◎=分科会長 ○=職務代理者

<欠席者> 2人

岩井丈幸 (前橋市医師会)
三俣和哉 (群馬県地域密着型サービス連絡協議会)

<傍聴者> 0人

◆ 次 第 1 開 会

2 あいさつ

3 議 事

(1) 第9期まえばしスマイルプランの原案(本編)について

【資料1-1】【資料1-2】【資料1-2補足】

(2) パブリックコメントの実施について【資料2】【資料2補足】

(3) 答申書(案)について【資料3】

4 その他

5 閉 会

1 開 会

五嵐長寿包括ケア課長

- ・委員 17人中 15人の出席により本分科会が成立していることを報告
- ・会議及び会議録が公開であることを報告

2 あいさつ

(牛久保会長) 皆様の協力により次期まえばしスマイルプランの原案がまとまった。引き継ぎ、よろしくお願ひしたい。

3 議 事

(1) 第9期まえばしスマイルプランの原案(本編)について

- ・【資料1-1】に基づき事務局から説明

<質疑等>

(剣持委員)《43頁、44頁》 「ピンシヤン体操クラブ 体操クラブ活動数」について、図表3-6(4)一般介護予防事業(地域介護予防活動支援事業)と、図表3-7(2)人が集う居場所づくりの評価が異なるのはなぜか。

(事務局) 誤りである。評価を「C」で統一し、訂正する。

(後閑委員)《34頁、36頁》 西ブロックの高齢化率が東ブロックより低いのはなぜか。

(事務局) 東ブロックの山間部の高齢化率が高く、西ブロックの特に東圏域で比較的若い世帯が多いことが理由だと考えられる。

(武井委員)《29頁ほか》 「■介護保険サービス利用者(6月利用分)」の「居宅サービス利用者」と「施設サービス利用者」はどのような基準で区分しているのか。

(事務局) 住民登録上の住所で区分けしている。

(柳川委員)《第3章 38頁～》 令和5年度のみの評価か。単年度ごとの評価を記載した方が良いのではないか。

(事務局) 令和3年度から令和5年度までの総括した評価である。半期ごとに評価を行い報告しているが、次回以降に記載できるか検討したい。

(柳川委員) 3年間の評価であれば3年間の総数を記載した方が良いと思うので、次回以降に検討して欲しい。

- ・【資料1-2】【資料1-2補足】に基づき事務局から説明

<質疑等>

(柳川委員)《【資料1-2補足】5頁以降》 利用者数・利用回数の分母は何か。

(事務局) 1月あたり的人数・回数となっている。

(長谷川委員)《【資料1-2】62頁》 図表5-11高齢者虐待防止等への対応に関する目標にある「地域包括支援センターにおける高齢者虐待に関する延べ相談件数」が、41頁の第3章評価にある同一名称のものと何が違うのか。また、「高齢者虐待に関する通報件数」は、増加を目標としているが、埋もれている事実があることを意味しているのか。そして、「虐待の事実があると判断された事例における虐待の深刻度の平均値」とは、どういう数値か。

(事務局) 高齢者虐待に関する相談件数のカウントの仕方が変わっている。また、虐待の

通報については、十分に周知されていない部分もあるので、様々な関係者からの通報を増やし、取りこぼしを少なくしたいと考えている。そして、深刻度については、事案により軽度から最重度までに区分された数値のこと。

(牛久保会長) 最も高い数字は何ポイントか。

(事務局) 確認して報告する。※以下のとおり。

【深刻度区分とポイント】軽度1、中度2、重度3、最重度4

(後閑委員) この計画をどれだけの市民が理解しているかが重要だと思う。自治会などと連携しながら周知を行って欲しい。

(事務局) 市も周知の必要性は認識しているので、今後も他部署と連携しながら、様々な媒体を活用し、機会を捉えて発信していきたい。

(久保田委員) 《【資料1-2】63頁》生活支援体制整備の推進にある「地域資源」とは何か。

(事務局) 公的なサービス以外の団体や企業が提供しているインフォーマルなサービスのこと。生活支援体制整備事業では地域資源の把握と必要な人へのマッチングが重要と考えており、システムを活用して収集と登録を行っている。

(久保田委員) 民生委員が把握しているものもある。地域包括支援センターは、各町の相談件数・内容などを分類して提供するなど、民生委員と連携して、各町の状況の把握に努めて欲しい。

(事務局) 各地域包括支援センターで、年に1回、地域ケア調整会議が開催され、各地区内の状況や今後の取組について話し合われている。なかなか議論が深まらないといった課題もあり、地域ケア会議部会を設けスキルアップを図っている状況だが、次年度以降にまたご意見をいただきたい。

(矢嶋委員) 《【資料1-2】58頁》「在宅で最期を迎えた人は2割弱にとどまっている」とあるが、残りは病院などで最期を迎えているのか。看取りに対する理解の醸成は大変重要な課題と認識しているので、図表5-7の目標値では足りないのではないかと。

(事務局) 病院で亡くなる人が多いと認識している(※補足のとおりに)。委託先の従事者数や会場規模から算出した現実的な目標値となっている。その他、「私の人生ノート」について広報等での周知を継続していく。

※【補足】病院57%、施設18%、在宅18% (令和3年度 人口動態統計)

(矢嶋委員) 《【資料1-2】83頁》認知症ケアパスの名称について、市民から分かりにくいとの意見はないか。

(事務局) 特に意見はない。名称については、関係者に定着しているものの、市民への認知症の普及啓発に相応しいかは分からない。今後もこの冊子を活用して認知症の理解を深めるための活動を行っていきたい。

(牛久保会長) 本日提示された第9期まえばしスマイルプランの原案について、ご承認いただけるか。

(委員一同) 《承認》

(2) パブリックコメントの実施について

- ・【資料2】【資料2補足】に基づき事務局から説明

<質疑等>

(野中委員) 多くの意見を出してもらうため、1月号の広報の他に、2月号にも載せられないのか。また、計画の原案も二次元バーコードから見ることができるのか。

(事務局) 広報へは同じ記事を2回以上掲載することはできないためご理解いただきたい。

また、チラシの二次元バーコードを読み取ることで、意見提出フォームの他に、計画の原案等が掲載されている市ホームページにアクセスすることができる。

(牛久保会長) 計画の原案はカラー、白黒のどちらで公表するのか。

(事務局) 市ホームページ上はカラーで、紙媒体での配布物は白黒となる。

(3) 答申書(案)について

- ・【資料3】に基づき事務局から説明

<質疑等>

※特になし

(牛久保会長) 本日提示された答申書(案)の内容で前橋市に答申することで、ご承認いただけるか。

(委員一同) 《承認》

4 その他

<次回の開催について>

(事務局) 次回最終回は令和6年2月29日に前橋市役所11階北会議室で開催予定。開始時刻は14時30分からとし、議事終了後、休憩を挟んで15時30分から答申式を行う予定。詳細は後日お知らせする。

5 閉会

(小坂福祉部長) 本日は多くの貴重な意見をいただき感謝申し上げます。国の来年度予算も固まりつつあり、介護報酬については全体で1.59%のプラス改定との報道があり、介護保険料については所得の多い人の負担を増やし、低い人の負担を減らす案が提示されている。こうした中、次回の分科会まで約2か月あるので、気づいた点があれば事務局にご連絡いただきたい。パブリックコメントの結果も併せて、より良い計画となるよう修正できるものは対応したい。引き続き、お力添えをお願いしたい。

以上